

第 266 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 7 年 4 月 8 日 (火) 開催 会場 : Tech Hub Yokohama 】

1. 株式会社スマートセンシング 代表者 山野井 康友 氏 (<http://smart-sensing.co.jp/>)

【住所】千葉県船橋市丸山 5-30-1 馬込沢 大一ビル 1 階 【設立】2013 年 9 月 【資本金】300 千円
 【事業概要】当社は「最先端テクノロジーで、お客様の夢と快適さを形に」をテーマにお客様の「見たい・欲しい」を実現するためのセンサ・モジュール、アクチュエータ・モジュールを開発している会社です。今までお客様のご要望を実現するための原理試作、動作確認・検証を行うに必要な技術スキルと経験をもって、今まで多くのお客様のご要望にお応えして参りました。今後は、さらなるお客様への貢献と量産につなげられる製品の開発。また差別化できる自社製品の開発に努めていきたいと考えております。

【コメント】同社の具体的な事業内容としては、①液晶レンズ、②スマートプリズム、③建物ヘルスマニタリングシステムの 3 つがあります。特に液晶レンズについては、機械要素を含まず、電気信号のみでレンズの焦点距離を変化させることが出来るので、液晶レンズの小型化、駆動電圧の低下、応答速度の改善へと繋がっています。液晶レンズの薄型、低消費電力、メカレスで高信頼性、量産性が高いという特長を生かして、AR、眼鏡、Laser LiDAR Scanner、空間光通信などに使用することが出来ます。今回の支援目的としては開発援助の資金調達を求めておられました。



2. ナッジヘルステック株式会社 代表者 中摩 貴浩 氏 (<https://www.nudge-ht.jp/>)

【住所】東京都中央区日本橋横山町 6-8 NH2ビル 3 階 【設立】2019 年 6 月 【資本金】84,000 千円
 【事業概要】

- ・ヘルスケアインフラの構築(薬局、旅行代理店とのコラボレーション)
- ・次世代型微量採血デバイスの開発
- ・微量採血技術をヘルスケアからメディカル領域へ展開

【コメント】同社のビジョンは、『指先採血を通じてヘルスケア領域に新しい価値を創造し、「指先採血＝ナッジ」を広め、世界をリードするブランドを目指す』こと。今や、採血は静脈採血から指先採血へとより簡便な方法へと変わりつつあります。この事業のためには、ニプロ社と共同で医療機器として開発された、100 μL(目薬 3 滴)の世界最小クラスの微量採血管を使用。通常、日本では病気の診断でしか血液の状態は分からないですが、健康状態から病気になるまでの流れをデータ分析することにより、創薬技術への進歩に繋がり、新たな医療・ヘルスケアの技術の確立などが期待されます。このデータ解析により、エビデンスのある未病予防が出来、医療費の抑制も期待出来ます。更には医師の働き方改革の解決にも繋がっていくそうです。次世代ヘルスケアインフラを構築するべく、今年から社会実装にむけて東京と大阪のスギ薬局 12 店舗で運用拡大。今後、地域の健康系企業と連携を深めて、順次、拡大していく予定だそうです。中摩社長は「社会課題の解決に取り組む公共性の高いプロジェクトであるので、多くのサポーターと発展させていきたい」とおっしゃっていました。



3. イムノジェネテクス株式会社 代表者 今村 佳正 氏 (<https://immunogeneteqs.com/>)

【住所】千葉県柏市柏の葉 6 丁目 6 番 2 号 三井リンクラボ柏の葉 1 304 号室 【設立】2019 年 6 月
 【資本金】12,740 千円

【事業概要】当社は、バイオ・医薬品産業の細胞研究において不可欠なシングルセル RNA 解析サービスを独自の特許技術により他社よりも高精度かつ低コストで提供する東京理科大学発のベンチャー企業です。将来的には、細胞解析分野の事業を充実・拡大させるとともに、大学で培った免疫研究の成果を基にがん免疫治療の有効性を高める診断方法の開発など、免疫療法のソリューションプロバイダーを目指しております。

【コメント】国内ではオプジーボを皮切りに合計 8 つの免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) が承認されていて、対象となるがん種も合わせると 20 以上にもなるそうです。ICI は多くの癌腫で標準治療標準治療として用いられていますが、2 年の投与が一般的になっており、非常に高額な医療費であるというのが社会問題になっております。かたや効果が不十分な患者さんも多数存在しているそうです。今年から ICI 診断事業、受託解析事業、創薬支援事業をそれぞれ拡大していき、将来的には株式市場への上場も視野に入れておられるそうです。



【感想】今回の発表会は開催直前までお申し込みが入ってきて、皆さんの関心度が高いと感じました。交流会では、盛んな情報交換がされていました。どの発表企業も各々の分野でイノベーションを起こし、新しいマーケットを構築されようとしていて、今後の展開が楽しみです。もし発表をご希望とされる方がおられましたら、お早目にお申し出を頂けると幸いです。

☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆

第 267 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時: 令和 7 年 5 月 13 日 (火) 13:30~15:00

■会 場: Tech Hub Yokohama

横浜市西区みなとみらい 2 丁目 2 番 1 号

横浜ランドマークタワー TECH HUB YOKOHAMA

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA

(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード

(株)TNP スレッズオブライト 井 汲 美 樹